

## はじめに



三島市の下水道事業は、昭和51年11月の供用開始以来、公共用水域の水質保全と生活環境の向上を目的として、鋭意整備を進め、下水道の普及に努め、県内市町の中でトップクラスの普及率となりました。

これまでは、下水道の普及に伴い、使用料収入は増加してまいりましたが、今後は、少子高齢社会の進行や人口減少等により、使用水量が減少し、下水道事業経営に影響を及ぼすことが想定されます。

また、施設や設備の老朽化に伴い、更新需要が増大するなど、下水道事業を取り巻く環境は厳しさが増してまいります。

そこで、下水道事業が将来にわたって安定的に事業を継続していくため、令和元年度に令和2年度から令和11年度までの10年間を計画期間とする「三島市下水道事業経営戦略」を策定しました。

一方で、「経営戦略」とは策定して終わりではなく、3～5年毎の検証や評価、そして改定を行っていくというPDCAサイクルを導入して確立させる必要があります。現在は総務省より、令和7年度までに経営戦略の見直しを完了することが要請されています。このような背景を踏まえ、「三島市下水道事業経営戦略」においても令和6年に計画期間内の中間年を迎えたことから、現経営戦略の達成状況を評価し、改定を行いました。

今後も、本「経営戦略」に基づき、投資費用の平準化を図りながら計画的な下水道整備及び維持管理に努め、施設の長寿命化を図り、汚水処理機能を安定的に維持してまいります。

引き続き、下水道事業経営の健全化を目指し、汚水処理の更なる効率化、財源の適正化及び職員の能力向上を図りながら、国連の持続可能な開発目標（SDGs）にもあります「すべての人々（市民）の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」よう努めてまいります。

結びに、本経営戦略策定にあたり、貴重なご意見を賜りました三島市水道事業及び公共下水道事業審議会委員の皆様にご心から感謝申し上げます。

令和7年3月

三島市長 豊岡 武士



「SDGs (エスディーゼーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された持続可能な社会をつくるため、「17の目標」と「169のターゲット」で構成されます。2030年までに達成することが目標とされており、下水道事業においては、目標6「安全な水とトイレを世界中に」のほか、以下の3つが関連します。

本市の下水道事業では社会インフラのひとつである下水道の整備や施設・管路等の維持管理を通じ、持続可能なまちづくりを進めていきます。



# 目 次

<b>第 1 章 経営戦略策定の趣旨</b>	
1-1	経営戦略策定の背景／改定の目的 ..... 1
1-2	計画期間 ..... 1
1-3	位置付け ..... 2
<b>第 2 章 現状把握・分析</b>	
2-1	経営状況 ..... 3
2-2	施設状況 ..... 13
<b>第 3 章 将来の事業環境</b>	
3-1	処理区域内人口の予測 ..... 16
3-2	有収水量の予測 ..... 17
3-3	使用料収入の見通し ..... 18
3-4	施設の見通し ..... 21
3-5	組織の見通し ..... 25
<b>第 4 章 経営の基本方針</b>	
4-1	将来の経営課題 ..... 26
4-2	経営の基本方針 ..... 28
<b>第 5 章 投資試算</b>	
5-1	投資試算の経営目標 ..... 32
5-2	投資試算 ..... 32
5-3	投資以外の経費 ..... 34
<b>第 6 章 財源試算</b>	
6-1	財源試算の経営目標 ..... 37
6-2	財源試算 ..... 37
6-3	財政収支の見通し ..... 38
<b>第 7 章 今後の取り組み</b>	
7-1	今後の投資についての取り組み ..... 42
7-2	今後の投資以外の経費についての取り組み ..... 43
7-3	今後の財源についての取り組み ..... 44
7-4	経費回収率の向上に向けたロードマップの策定 ..... 45
<b>第 8 章 事後検証・改定など</b>	
8-1	経営戦略の検証 ..... 46
8-2	情報発信 ..... 46
8-3	実効性のある PDCA サイクルの確立 ..... 46
<b>【 巻 末 資 料 】</b>	
	投資・財政計画（収支計画） ..... 47